

# 議会報告 市民の声を市政にとどける てくテク くらしげ政樹



議会控室(025-226-3450) 事務所:秋葉区田家2-2-19 (TEL・FAX0250-22-1393)



ある町内会の役員の方から「これも事業点検の影響か」との声がかかり、お話を伺ってまいりました。

今年度、新潟市緑化推進事業補助制度が大きく変更されました。それも年度末近くになって各自治会・町内会（以下、自治会）に対する一片の通達によるもので、その内容は、

- ・花苗に対する助成額は各自治会あたり5万円を限度とす

## 財源不足 事業点検 自治会が悲鳴! 市緑化活動への補助金が大幅削減

ること

- ・各自治会が業者から直接購入すること
- ・助成を希望するなら業者からの見積書を付けて市に申請書を提出すること
- ・市はそれが適正か否かを審査し適正であれば助成すること
- ・5万円の助成も予算額に達し次第打ち切ること
- ・石灰・肥料についての助成は無くなること

等でした。

自治会長さん等への事前の説明も全くなかったということでした。（全体としてまことに高飛車で、乱暴、誠意のないものと憤慨しておられました）

これまでは、町内の緑化事業（花壇への花苗植込み、石灰・

肥料の散布等）に対し、自治会が花苗の支給希望数量を市に申請し、市が審査のうえ無償で支給するというものでした。肥料、石灰についても無償支給となっていました。

昨年までと同様に地域の公共花壇に花苗を植栽すると、すくなくとも20万円の費用がかかり、5万円の助成ではぜんぜん足りず、自治会の「持ち出し」になります。これでは規模を大幅に縮小するか、取り止めにするを得ない自治会が多くなるのではないのでしょうか。

「花と緑に囲まれた 笑顔咲きそろうにぎわいのあるまち 秋葉区」という区のキャッチフ

裏面へ続きます

生活相談ご希望の方は、ご連絡ください。 携帯(090-2479-5094)  
毎月第3土曜:午前10時~12時 くらしげ政樹事務所 (秋葉区田家2-2-19)  
※必ず事前にお電話ください。事務所にてお待ちいたします。相談料は無料です。

レーズのもと、秋葉区の各地域、自治会が区の事業に協力し、街や地域を活性化する大事な行事として実施、定着してきたものです。そのようにして育ててきた秋葉区の誇り、独自性はどこへ行ってしまったのでしょうか？

多くの自治会・町内会からや悲鳴の声があがっています。（乱暴で一方的、不親切なやり方、と怒っています）

この緑化推進事業の大幅縮減の方針を市に早急に見直すことを要求したい、少なくとも秋葉区においては、この事業の独自



国保料の滞納に対し、銀行預金の一定額が差し押さえになったという相談が寄せられました。国保料に限らず、「督促状」が届いたら放っておいてはいけません。「一報ください。」

前号でお知らせした6月16日に予定していた演説会は県知事選のため、7月14日（土）に延期となりました。弁士は未定です。

性、歴史と伝統、地域の文化という観点から区の来年度予算で抜本的に見直すと同時に今年度における救済策を講ずることを要求したい、とのことでした。

大型土木事業優先、市長の私的趣味優先等、市の財政運営失

### ロジャー・ブラールキー

ときどきふざけて自己紹介をするときの私の名前です。路地をブラブラ歩いていたときに思いついたものです。作家の椎名誠が麺類が好きだという理由でソ連（当時）を旅行中にシーナメンスキーとロシア風の名前を考えて遊んだというので、私も「名前つけ遊び」をしますが、この名前はお気に入りの一つです。

路地を私なりに定義づけると、「自転車なら乗って通るには狭い幅の道」ですが、その路地がやはり少なくなりつつあります。

敗のツケを、立場の弱い市民生活関連費に押し付けている篠田市政の根本姿勢がこんなところにも表れています。

市民の暮らしに目が向き、市民の声に耳を傾ける市長が求められています。

す。こうなると、かえって路地が貴重な存在に思えてきて、ふと目に入るとそこを歩きたい衝動に駆られます。が、用もないのに通り抜けようとすると勇氣が必要です。厳密に言えば「私道」でしょうから…。

子どものころ路地を通るのは当たり前でした。なんの遠慮もなく通りますし、近道を発見しようものならそれこそ大喜び。誰かの家の軒下でもこつちが近道だと知っていることが自慢になったものです。大人もいちいち咎めないし、子どもならではの特権だったのでしよう。

日本共産党は政策で一致する党派、さまざまな団体との統一した力（統一戦線）で、国会で多数派を作り、国会外の運動と結びながら、国民の要求を実現していこうと考えています。決して私たちの見解を統一戦線に持ち込むものではありませんが、同時に知っていただきたいと考えています。今回の綱領紹介は日本共産党のアメリカに対する見方です。

綱領（5）…アメリカは、日本の軍事や外交に、依然として重要な支配力をもち、経済面でもつねに大きな発言権を行使している。…日本とアメリカとの関係は、対等・平等の同盟関係では決していない。日本の現状は、発達した資本主義国のあいだではもちろん、植民地支配が過去のものとなった今日の世界の国際関係のなかで、きわめて異常な国家的な対米従属の状態にある。

今、安保条約がありますが、将来はこれを廃棄し、対等平等の立場に基づく日米友好条約を結びます。経済面でもアメリカの不当な介入は許さず、金融・為替・貿易を含むあらゆる分野で自主性を確立するのが私たちの考えです。